

各区町内会連合会との意見交換会(主な意見)

- 今の若い人たちにとって町内会・自治会はどのような存在意義、必要性があるのか。個人で解決出来ないことを地域の皆さんで解決していくことが町内会・自治会の意義だと私等はよく言っている。また、年配の人と若い人を如何に繋げていくかということが最大の悩みである。
- かつては女性が家庭にいる人が多く、男性も 60 歳を過ぎると定年を迎え家にいて、元気な担い手が大勢いた。今は、女性も仕事をしている方が多く、70 歳を過ぎても仕事をしている男性も多い。かつてのように大勢の人が関わり、平日に集まり準備をして行事を行うということが難しくなった。
- 各町会が抱える課題は、如何に町会に加入してもらうか。
- 居住の種類といった要素が絡むと、だいぶ回答の内容が変わってきてしまうことがある。アパートが多い地域は、恐らく加入率は低いと思う。
- 大手の建設会社と川崎市の間で何らかの覚書を結んで頂いて、是非建物を建てる時には、「入居者に町内会・自治会に入るように説明してください」ということを指導して頂けると加入率がアップするのではないかと考えている。是非ご検討していただきたい。
- 回覧板を回すといったことはきちんとやっているが、町会への参加には中々無関心というような感じである。私のところの町会は、会長の後継者だけではなく役員の手がならず崩壊寸前なのだが、そのような人たちが少しでも来てくれれば状況が改善するのではないか。
- 回覧物等の到着日がバラバラだという意見が結構ある。少なくとも特定の日を中心として、そこからプラスマイナス 3 日程度に到着期間を収めてほしい。基準があるのであれば、その基準を守るということをもっと強く指導してほしい。
- 会館があるところは会館に持って行けばよいが、会館のないところは結局届いた先で仕分け日まで保管しておかなければいけない。それがある程度溜まると結構な量になる。
- 配布物を仕分けするときに、市政だよりは 50 部ずつ反転して折目目がしっかりしているので、勘定するときに楽。県のたよりはやりにくく、場合によっては光沢のある非常に質のよい紙を使っているので、指サックを着用するか指を濡らしながらでないといえられない。
- 基本的に、町内会・自治会は互助のような関係を築くものだが、そこに行政が入ると頼まれ役にされるが多すぎるように感じる。そうすると段々そういうものが負担になってきて、町内会・自治会へあまり加入したくないという話になりかねない。
- アンケート結果の説明があったが、分析結果の内容だけで、結局行政が何を手伝ってくれるのかということが見えてこなかった。例えば、会長歴が 1 年以下の会長が多いという環境のところに、どのように補助していただけるのかというのは、行政に応援していただかなければならないのではないかと。